

## 地域アクションプランに関する意見交換の状況

物部川地域	主 な 意 見
南 国 市	<p>【農 業】 ○ 新規就農希望者の研修受け入れ。施設園芸の発展に向け有利販売、加工分野への挑戦。</p> <p>○ 保育・小・中学生への農業体験を通じた食農教育の実践。</p> <p>○ 南国市は良い食材が多いので、今後も色々加工に取り組んでいきたい。</p> <p>○ 現在シャモ鍋を南国市の特産品にしようと活動している。シャモ研だけが儲ける仕組みではなく、町全体が元気になる仕組みづくりに取り組んでいきたい。</p> <p>○ JA十市直販所(ひかり市)の移転、拡張(週2回→毎日開催にしたい)</p> <p>○ 貸農園の整備をしたい。十市地域の立地条件を活かし退職世代だけでなく、都市(高知市・南国市)の若年層、特に女性層への推進。人の集まる地域づくりをしたい。</p> <p>【林 業】 ○ 木質ペレットボイラーの普及。</p> <p>【商工業】 ○ ごめん町商店街は一過性であっても軽トラ市やアンパンマンの石像等で来場者がいる。これを商売に繋げたい。アンパンマンショップ的なものをしてほしい。ここで人が集まれば周りの商店主にも好影響を与えるのではと考えている。</p> <p>【観 光】 ○ 現ステージのフラッシュアップが必要。観光については、体制整備から「体験プログラム」の作り込みとプロモーションへとフラッシュアップする。</p> <p>○ 農作業体験も交えた農家民泊。</p> <p>【分野共通】 ○ 一般的にプレーヤー(実施主体)がいないことが最大の課題。プレーヤーを育てないといけない。</p>
香 南 市	<p>【農 業】 ○ 産業振興推進総合補助金を活用して、エメラルドメロンの販売力向上に取り組んでいる。</p> <p>【水産業】 ○ 「シイラの加工商材活用」に向けた加工事業が地域の雇用につながった。</p> <p>【商工業・観 光】 ○ 高知には、県外観光客が飛行機に乗る前にお金を落とすところがない。香南市の地理を活かし、吉川町に大きな観光物産館を作るのはどうか。また、三宝山の利活用が困れないか。</p> <p>【分野共通】 ○ リーダー気質を持つ人材育成が大事。</p>
香 美 市	<p>【農 業】 ○ 香美市はユスの丸ものブランドがあるが、高齢化などでブランドの維持が難しくなっている。</p> <p>○ 農作物の産地を育成するには、組織化はもちろんのこと、普及員やJAの営農指導員による指導が必要。JAの合併の影響により、かつてと比べると、関係が希薄化している。</p> <p>○ 新規就農者が安心して営農できるように、既就農者のネットワークづくりを行う。</p> <p>【林 業】 ○ 来年度より切捨間伐に対する補助金が無くなるため、雇用を減らさなければならない事態になっている。</p> <p>○ 木材自給率及び生産量の向上を図るためには、林業機械の導入の必要があるが、震災の影響で予算が大幅に削減されている。</p> <p>【商工業】 ○ 土佐打刃物など、伝統工芸の後継者育成対策の充実を。</p> <p>【観 光】 ○ 別府峡温泉を拠点とした「森の駅構想」といったものを検討したい。その中で、体験型観光として、パン作りや山歩き、間伐体験をからめ、森林をアピールしたい。</p> <p>○ 旅行会社等と提携して、農産物の収穫や植林等、地域にある産業を活用した体験型観光を推進していくのはどうか。</p> <p>【分野共通】 ○ 市の農産物や特産品を取り扱う物産展を常設し、市内外にアピールを。</p>